

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

5年 5月 16日

秋田市長 穂積 志 殿

提出者 秋田県秋田市雄和相川字向田表204番地
秋南アサノコンクリート株式会社 雄和工場
住 所 代表取締役 佐々木 光 司
氏 名 TEL 018-886-4114
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	秋南アサノコンクリート(株)雄和工場
事業場の所在地	秋田市雄和相川字向田表204
計画期間	令和5年4月1~令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	生コンクリート製造販売
② 事業の規模	21,920万円
③ 従業員数	9名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類(コンクリートくず)→運搬委託→再生利用業者への処分委託 無機汚泥→運搬委託→分別→最終処分

(日本工業規格 A列4)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
公害防止責任者			
公害防止担当者			
大気関係	騒音・振動関係	水質関係	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排 出 量	936 t	183 t
	(これまでに実施した取組) がれき類 → 再利用業者への処理委託 汚泥 → 処理委託		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排 出 量	1,300 t	200 t
	(今後実施する予定の取組) がれき類 → 再利用業者への処理委託、発生の低減化 汚泥 → 発生の低減化		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類 → コンクリートくず		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	936 t	183 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	936 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	再利用率業者への処理委託		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	1,300 t	200 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,300 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
がれき類	再利用率への処理委託 残コン・戻りコンの低減化 購入者との連絡を密にする		
汚泥	発生減量に努める		
※事務処理欄			